

### 第38回可視化情報シンポジウム

実行委員長より、ご挨拶。

こんにちは。第38回可視化情報シンポジウム実行委員長の飯田明由（豊橋技術科学大学）です。

予定通り、2010年7月20日—21日（東京：工学院大学）に第38回可視化情報シンポジウムが開催され、盛会に無事終了いたしました。

2日間で講演発表149件、招待講演2件、企業セッション1件、ワークショップ1件が行われ、活発な研究討議が行われました。参加者数も293名と、例年に比べて非常に多くの講演が行われたこと嬉しく思います。

論文投稿をいただきましたみなさま、参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。また、招待講演をお引き受けいただきました早稲田大学の岩崎清隆先生、静岡大学の齋藤隆之先生、会場を提供いただきました工学院大学、協賛いただきました多数の企業のみなさん、セッションを企画いただいたオーガナイザーのみなさん、座長をお引き受けいただきましたみなさん、そして、このシンポジウムの基盤を支える、現在、過去にわたるすべての可視化情報学会の会員と関係者のみなさまに感謝申し上げます。

今回、全員参加型の懇親会を目指して企業展示会場での懇親会を試みましたが、会場設営など心配な点もありましたが、多くの方に参加していただくことができ、会場が溢れるくらい盛況でした。会員各位の交流が深められたのではないかと思います。

企業の方々が参加しやすくなるようにインダストリアル・セッションを実施しました。今回の試みの効果については今後検証し、より良いものにしていく必要がありますが、新しい試みを失敗を恐れずに実施することにより、シンポジウムをより良いものにしていきたいと考えております。

最後になりますが、実質的に会の運営をハンドリングしていただきました実行委員会のメンバーのみなさん、アルバイトの学生のみなさんも、本当にありがとうございました。

次回、第39回可視化情報シンポジウムも、おおよそ、例年通りの開催を見込んでいます。ぜひ、今後も可視化情報シンポジウム、可視化情報学会にご支援のほど、よろしく願いいたします。

2010年7月24日

シンポジウム実行委員長 飯田明由